

## ニコンが26/3期業績予想を下方修正—格付に直ちに影響しないが、今後の業績の方向性を要確認

以下は、株式会社ニコン（証券コード：7731）の26/3期業績予想の修正についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は2月5日、26/3期業績予想を下方修正した。営業損益は1,000億円の赤字（前回予想140億円の黒字）、最終損益は850億円の赤字（前回予想200億円の黒字）となる見通しである。業績予想下方修正の主因は過年度に買収した金属3Dプリンターを手掛けるSLM社ののれんおよび無形資産の減損損失計上だが、映像、精機といった主要事業の業績動向も下方修正の一因になっている。
- (2) 業績予想の下方修正により親会社の所有者に帰属する持分が一定程度毀損する見込みだが、SLM社ののれんおよび無形資産の減損損失はキャッシュアウトを伴わず、親会社所有者帰属持分比率の低下も限定的になるとみられる。このため、本件が格付に直ちに影響するとは考えていない。もっとも、減損損失といった非経常的な費用を除いてみても26/3期は営業赤字の見通しであるなど、収益力が一段と低下している。JCRは今後の業績の方向性を確認の上、格付に反映させていく。

（担当）本西 明久・関口 博昭

### 【参考】

発行体：株式会社ニコン

長期発行体格付：A+

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したもので、ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遗漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル